

# 西田町 梅の里



福島県郡山市西田町は、安達太良山が一望できるパノラマ地域です。その自然に恵まれた西田町で、地域特産物として6千本以上の梅が栽培され、良質の生梅を生産し、梅干しや、カリカリ梅などを加工しています。花の季節になると、1,000本以上ある梅の木の花が一望できる梅の里は、東京ドーム2個分の広さで、畑一面純白に咲いた梅の花と香りで埋め尽くされます。純白に咲いた梅の花の所々に紅梅、レンギョウ、桃、しだれ桜(150本)など様々な花が色彩を鮮やかにし「西田町の桃源郷」とも言われ、残雪の安達太良山を背景に心癒される一時をお届けします。

## 【栽培までの背景】

昭和55年から着手された国営郡山東部地区総合農地開発事業において、西田町では水田約170ha 畑地約220ha 合計390haの農地が設備されました。

事業当初の計画は、畑地は桑を主体に直裁する計画でありましたが、情勢等の変化により蚕糸価格が低迷するなかで、地域特産物として新しい作物の導入が求められました。

農家、農協、市、県等が数々の事例、地域への適合性、労働力、経済性、将来性等について会議と研修を重ねた結果、西田町に昔から多く栽培されている梅を地域の特産物として、50haの団地造成を目標に推進することが決定されました。

平成2年から梅団地を協力を推進するため市単独補助事業の梅生産団地植栽事業により直裁を開始し、平成12年までに約29haが直裁されました。

栽培品種は、白加賀(授受樹は梅郷)中心で、平成12年に梅干し向けに越の梅を直裁されました。

## 【西田町「梅の里づくり交流会」】

平成8年2月18日に加工により付加価値高めた特産品として育成するため、地域に潜在している加工技術を掘り起こしや、製品開発を進めると共に地域住民との交流を通じて「梅の里」をアピールし、地域が一体となった産地形成を進めることを目的に、郡山市農協梅部会西田支部、国営郡山東部地区営農推進協議会が主催し、非農家を含む地域の数多くの団体の協力を得て、当日、会場は身動きもできない程の参集者のもとで開催されました。非農家も一体となったこの交流会により、西田町の特産品として「梅」が多方面に渡りアピールされ、産地形成に向けて大きな一歩となりました。

## 【梅ロード】

平成2年より直裁を始めましたが、集团的に直裁されている、また幹線道路より望める圃場が少ないので、「梅の里」のメイン圃場がほしいと言うことになり、圃場の中でも集团的に直裁されている、三町目細田地区の西の宮～高柴デコ屋敷に通じる路線(約4Km)を「梅ロード」とし、約3,000本の梅の直裁を進めました。

## 【梅の品種】

品種の多くは、「白加賀」で、一部「南高梅」・「小粒南高梅」・「越の梅」・「小梅」の品種となっています。授受樹として、「梅郷」・「鶯宿梅」が直裁され、景観を良くするために多品種の紅梅が直裁されています。



URL: <https://www.西田町.jp/>

## 西田町 梅の里



### 【西慶梅園】

西田町は、養蚕、葉タバコを中心に行ってきましたが、国の東部開発事業により、それに代わる農産物を開発しようと、故 増子慶重が1990年から本格的に梅の栽培を始めて30数年になりました。

- 収穫期は、6/中旬～7/中旬頃まで、一町歩の梅畑で、5トンの生梅を出荷します。
- 西慶梅園では青梅の出荷の他に、昔ながらの漬け方(無添加)で作られた梅干をJA 農産物直売所(あぐりあ、愛情館)で販売および、自宅で直売しています。
- 3月中旬、花の時期になると地元の方はもちろん、他県からも多くの方々にお出でいただき、西田町の花見山。いや、桃源郷とも言われています。
- 6月中旬から本格的に収穫期に入ります。収穫期には梅狩り体験も行っており、地元小学校生徒の梅狩り体験や、地方より農業視察研修としてお出でいただいています。

### 【見頃】

紅梅:3月上旬～4月上旬 白梅:3月中旬～4月上旬 桃、レンギョウ、しだれ桜:3月下旬～4月中旬

### 【花の種類】

「梅ロード」:紅梅・白梅 3,000本 「梅の里」:紅梅・白梅 1,000本 しだれ桜 150本 「レンギョウ」「桃」

### 【見所】

西田町「梅ロード」は、約4キロに3,000本ある梅の花を楽しむことができ、梅の花と安達太良山が一望できる「梅の里」は、東京ドーム2個分の広さで、畑一面純白に咲いた梅の花と香りで埋め尽くされます。

純白に咲いた梅の花の所々に紅梅、レンギョウ、桃、しだれ桜(150本)など様々な花が色彩を鮮やかにし、西田町の桃源郷とも言われ、残雪の安達太良山を背景に心癒される一時をお届けします。

車で「梅ロード」を走ることできますが、安達太良山を一望しながら、かぐわしい梅の香りに包まれて、紅梅、白梅、レンギョウ、桜と鮮やかな色彩の中を散策するのも最高です。

